

## 福岡県の水道について

### 【調査の目的】

水道は、県民の皆さんの生活に必要な不可欠な社会基盤のひとつであり、安全・安心な水道水を継続的に供給することが求められています。老朽化した水道施設の更新や、災害に対する備え、水質管理の充実など今後対応が必要な課題が多くあります。

こうした水道を取りまく環境に対応するために、平成25年に国が策定した「**新水道ビジョン**」(※1)を踏まえ、福岡県が将来目指すべき方向性を示す「**福岡県水道ビジョン**」(※2)を策定することとしました。

「福岡県水道ビジョン」策定において、県政モニターの皆さんの水道に関するご意見を伺い、参考とさせていただきます。

(県土整備部水資源対策課水道整備室)

### ※1 新水道ビジョンとは

これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵を、今後も全ての国民が継続的に利用し続けることができるよう、50年、100年後の将来を見据え、水道の理想像を示すとともに、その理想像を実現するため、今後、当面の間取り組むべき事項、方策を提示しているものです。

### ※2 福岡県水道ビジョンとは

福岡県の水道が抱える課題を踏まえて、将来における水道の理想像を示し、水道事業者等の目指すべき方向性、関係者の役割分担などを明らかにするものです。

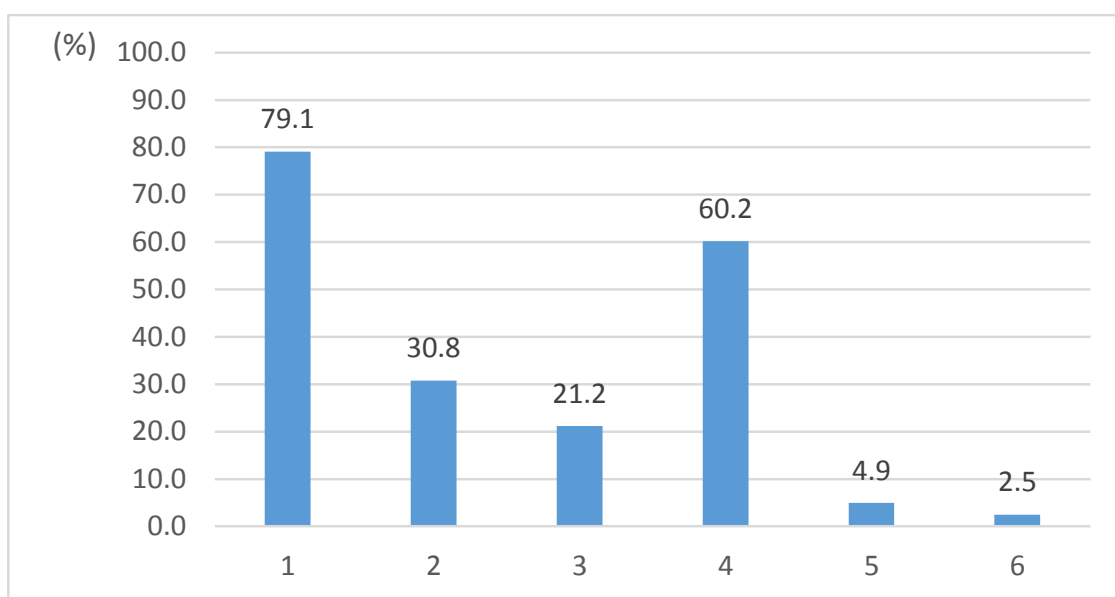
問1 水道の利用において、あなたが気を付けていることはありますか。  
次の中から【全て】選んでください。

1. 風呂や洗濯、食器を洗う際などに節水している (288名)
2. 災害時のために飲料水等として備蓄している (112名)
3. 住んでいる市町村等のホームページや広報誌で水道に関する情報を確認している (77名)
4. 沸かしたり浄水器を用いたりするなど、おいしく飲むための工夫をしている (219名)
5. 特にない (18名)
6. その他 (9名)

その他 (抜粋)

- ・ 節水蛇口、水栓を購入して水の出方を調整している。
- ・ 飲用に用いる水はウォーターサーバーを利用している。
- ・ 飲料用として天然水を購入している。
- ・ ダムの貯水率の確認。
- ・ 毎月の自分の家計の水道料の推移を確認している。
- ・ 無駄な流水がないよう気をつけている。
- ・ 雨水タンクと漬け物桶に雨水を溜めて、庭の水まきに利用している。
- ・ 浄水所に見学に行くなど、家族で水を大切にすることに取り組んでいる。

(N=364 複数回答可 回答件数=723)



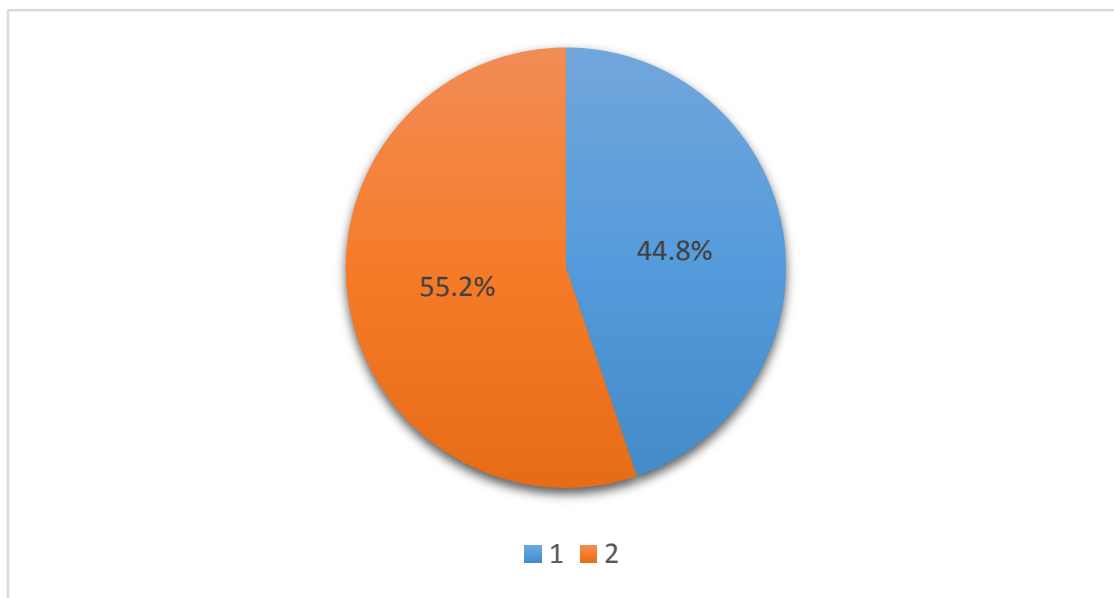
問2 水道事業は、人口減少等に伴う料金収入の減少が予測される中で、老朽化した水道施設の更新、災害への対策や水質の安全性の確保などを行わなければならない、その対応が問題となっております。

このような水道事業の現状について、見聞きしたことはありますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

1. ある (163名)
2. ない (201名)

(N=364 選択は1つのみ)



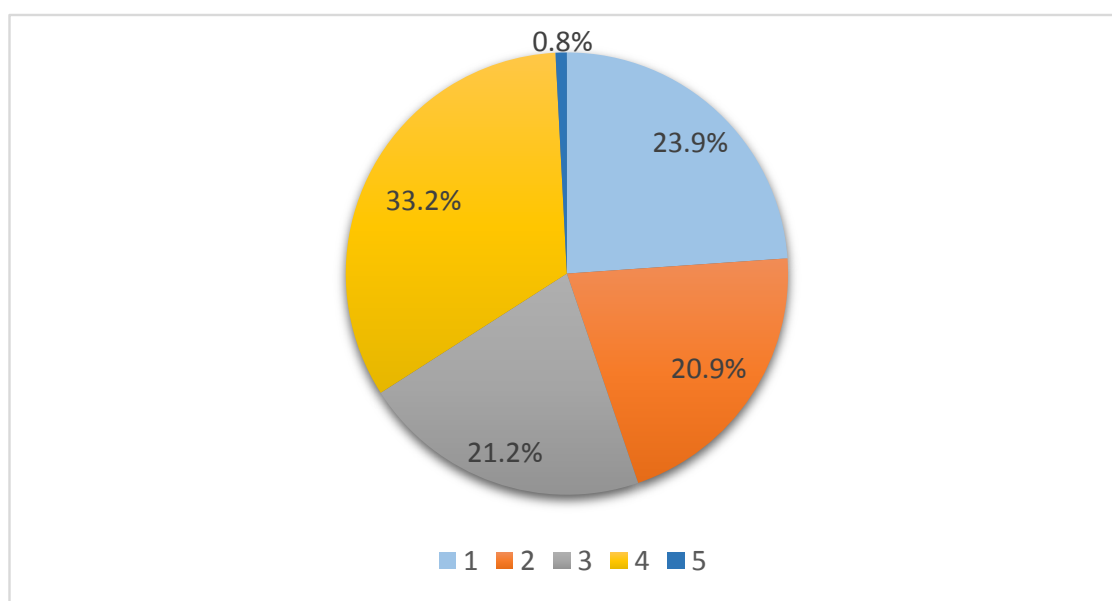
問3 水道水の安全性を確保するために、あなたが重要であると考えerことは何ですか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

1. 水質管理を計画的に行う (87名)
2. 水源を汚染するような事故や災害が起こった時に、  
飲料水の水質まで影響しないよう対応する (76名)
3. 水が汚染されるのを防止するため、水道施設の管理を徹底する (77名)
4. 水質の安全性を脅かす様々な危険性をきちんと把握し、  
対応策を準備する (121名)
5. その他 (3名)

その他 (抜粋)

- ・ 水源の確保を行う。(湧水になれば安定した水質を確保できないため。)
- ・ 通常の生活では水質の安全性は十分であり、あまりコストをかけず、水道施設を維持することを目標にお願いいただけたほうがよいと考える。

(N=364 選択は1つのみ)



問4 災害等に負けない力強い水道にするために、あなたが重要であると考えerことは何ですか。

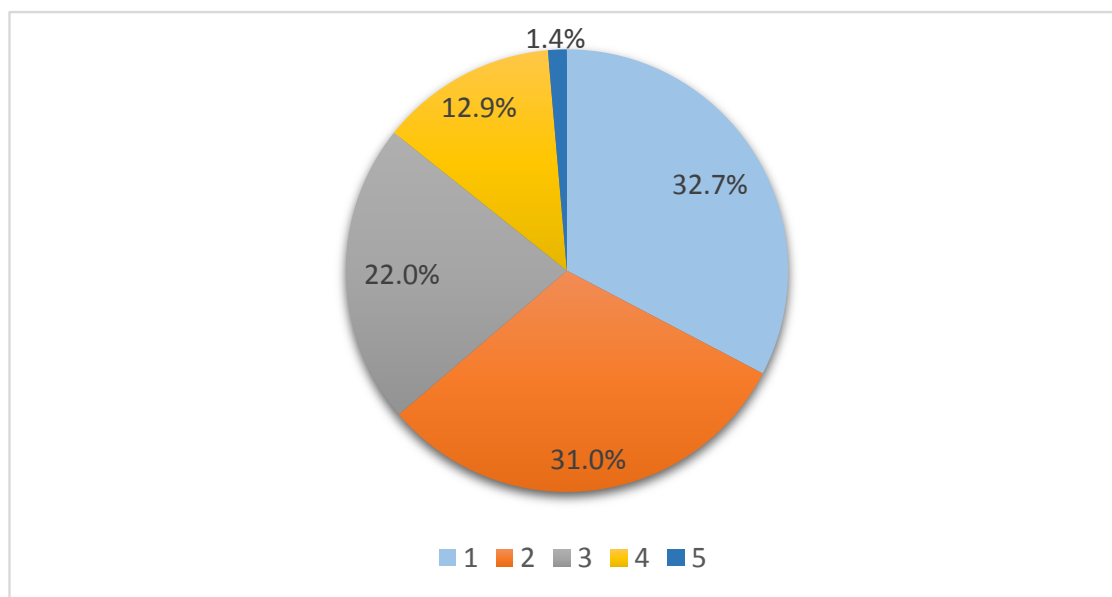
次の中から【1つだけ】選んでください。

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 1. 災害が起きても壊れにくい水道管や浄水場を設置する | (119名) |
| 2. 被災した水道管等を素早く復旧できる体制を整備する | (113名) |
| 3. 断水した時でも速やかに応急給水活動を実施する   | (80名)  |
| 4. 災害対応のマニュアルを策定し、日頃から訓練する  | (47名)  |
| 5. その他                      | (5名)   |

その他 (抜粋)

- ・ 「インフラ」投資の重要性を再認識する風潮を創っていくこと。
- ・ 災害時に自宅の水道が止まってしまっても、各地に被災が起きても壊れにくい水道管によって確実に給水される給水拠点があれば、給水車による給水活動をするよりも効果的ではないかと思う。
- ・ 災害などに100%負けないというのは、あり得ないと思うので、やはり日頃から、自分たちでできることは、自分たちでやるべきだと思う。(備蓄など)
- ・ 災害時に、避難所への水の供給を素早くするような備えに予算を割いていただいたほうがよいと考える。

(N=364 選択は1つのみ)



問5 将来にわたって安定的に水道水が供給されるために、あなたが重要であると考え  
るとは何ですか。

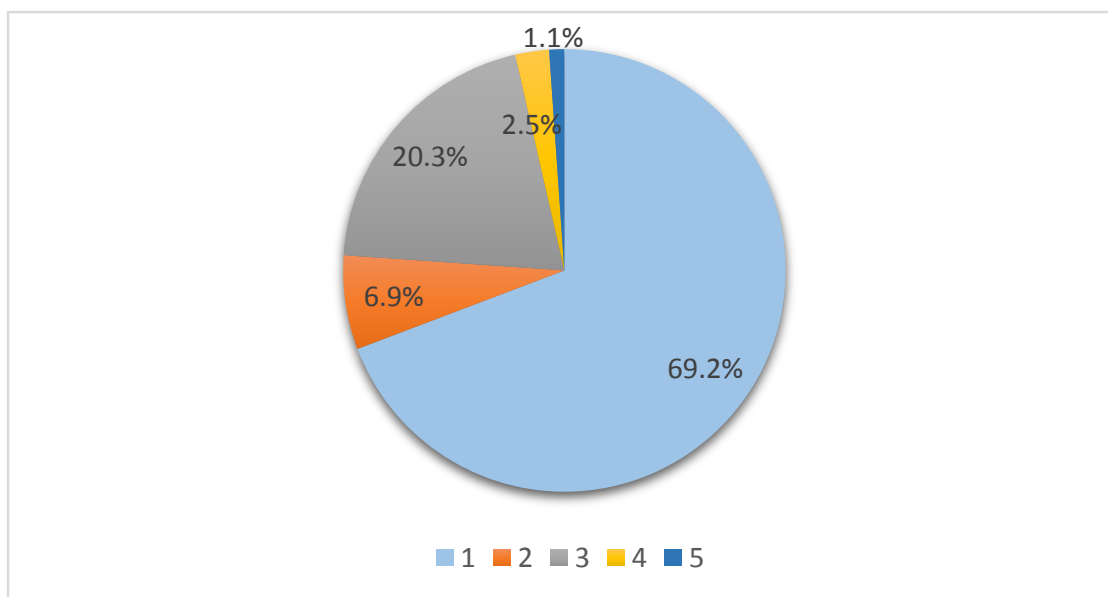
次の中から【1つだけ】選んでください。

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1. 老朽化した水道施設を、計画的に補修・更新する | (252名) |
| 2. 適切な水道料金を設定して、資金を確保する   | (25名)  |
| 3. 水道施設の統廃合を進め、効率的に運用する   | (74名)  |
| 4. 水道技術を持った職員を確保する        | (9名)   |
| 5. その他                    | (4名)   |

#### その他

- ・ 運営は公的機関が行うことが重要。民間参入は外国の水ビジネスに連鎖し、安全性へのリスクが高まり危険。
- ・ 海水の飲料化技術による当該の飲料化の実現、井戸等の水源開発などが重要。そして、最近の技術で、空気中の水分を集積し、水にするチューブがあるため、それを活用する。
- ・ 漏水を修繕する。水資源確保のためダムを良好に維持する。
- ・ 筑後川・遠賀川・山国川導水やダム群連携、多目的ダムの容量の見直しや再開発などが将来的に重要と考える。配水・浄水する部分だけでは成り立たないと考える。

(N=364 選択は1つのみ)



問6 今後の水道事業に期待することは何ですか。

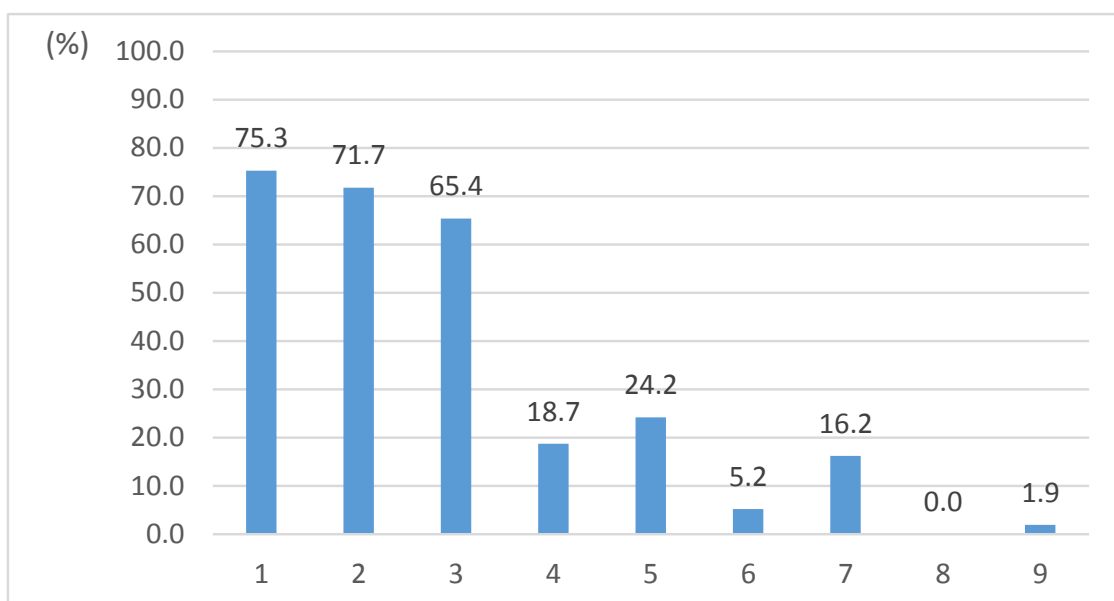
次の中から【3つまで】選んでください。

1. いつでもどこでも、安心して飲める水道にしてほしい (274名)
2. 災害等による被害を最小限にとどめ、被災した場合であってもすぐに復旧できるようにしてほしい (261名)
3. 将来にわたって安定的に水道サービスを続けてほしい (238名)
4. 水道事業経営の効率化に努めてほしい (68名)
5. おいしい水を供給してほしい (88名)
6. 水道に関する広報、情報提供を充実させてほしい (19名)
7. 再生可能エネルギーの導入等により地球環境の保全に努めてほしい (59名)
8. 特にない (0名)
9. その他 (7名)

その他（抜粋）

- ・ 安全性をある程度確保しつつ、上下水道料金を安くしてほしい。
- ・ 水不足時にも供給が不安定にならないようにしてほしい。
- ・ 水道事業の重要性を皆が共有できるように啓蒙活動を続けてほしい。  
透明性も必要である。
- ・ 老朽した水道管工事の改修。

(N=364 選択は3つまで 回答件数=1,014)



問7 福岡県の水道について、これまでの設問以外にご意見等ございましたら、ご記入ください。

意見（抜粋）

**【水道料金について】**

- ・ 水道代が高いのは理解するがもう少し説明がほしい。
- ・ 水道事業は、老朽化した水道施設の更新、災害への対策や水質の安全性の確保などを行わなければならないが、しかし、人口減少等に伴う料金収入の減少が予測されるのであれば値上げしかないのではと思う。
- ・ 安直に水道料金を値上げするのではなくて、コストカットや効率化によって水道事業を運営してほしい。
- ・ 水道は人間の生存に必要な基本的なサービスであるはずなので、低料金で、さらに福岡県内で差がないようにしてほしい。
- ・ 水道料金の徴収や検針に人が来なくても、水道の利用者が水道料金を知ることができる仕組みがあれば人件費など節約できるのではないか。
- ・ 改善していただくのはもちろんいいが、今の品質を維持するぐらいでよいと考えており、水道の基本料金を抑える方法を同時に模索してほしい。

**【官民連携の推進について】**

- ・ 水道は国民生活の基本的ライフラインであるので、国と自治体が責任もって水道事業者として進めてほしい。くれぐれも海外資本による経営参加などを導入することはあってならず。日本人の安全な生活にマイナス要因になりかねない。
- ・ 水道事業本体は、利益優先の民間業者には委託してもらいたくない。安心、安全が担保できない。検針等の軽微な業務に留めるべきだ。
- ・ 水道民営化が話題になっているが、どの様な形であれ「安定的」に「適切な料金」で水道が利用出来る事が望ましい。

**【県民への周知・広報について】**

- ・ 将来にわたって安定して、安全な水道水を供給していくには、県民の理解と、協力が不可欠である。広く県民参加の運動やイベント、また水源地の森を育てる事業などを積極的に実施する意義は大きいので、企画推進してほしい。

**【水源の確保について】**

- ・ 安定した水源の確保として地下ダム建設による地下水活用等を検討してはどうか。
- ・ 雨水を貯めるタンク等の整備を、補助金制度を充実させて進めてほしい。



#### 【水道水の水質・味について】

- ・ 安全安心はもちろんだが、美味しい水を供給することにも力を入れてほしい。
- ・ カルキ臭いのをなくしてほしい。

#### 【水道管・施設の老朽化について】

- ・ 設備の老朽化対策を、早め早めに推進してほしい。莫大な時間と費用がかかると聞いており、計画を周知すべき。
- ・ 水道事業における老朽化した水道管などの維持管理については、最新技術などを導入して、できるだけコストが安価となる方策としていただきたい。
- ・ 水道管等の老朽化が進み、更新が必要な状況だと、最近メディアでよく目にする。また、その資金が確保できてなく、それが使用者に上乗せされると。しっかりと計画的に事業を行ってほしい。民間等の第三者機関を事業に招き、水道事業の効率化、見直しを行い、資金確保を事業内でまず行ってほしい。

#### 【災害等に対する危機管理について】

- ・ 渇水や洪水が多発する時代になり早急に対策が必要である。水道事業もその中に含まれることは確かであり、ダムや水力発電に自然エネルギーを利用することを考えなければならない。もちろん、費用がかかるが、将来的にかかる費用を計画年数で割った年予算を毎年計上し負担をへらせば可能である。これをしないと将来日本は自然災害に飲み込まれてしまう。
- ・ 可能な限り地下に埋めて備蓄出来る環境を整備し、安全に飲める水を準備してほしい。特に災害時に発揮できるようにしてほしい。

#### 【その他】

- ・ 人口増加に伴い、水道管理と同様に下水管理が伴ってくる。上下水どちらも生活や生命に直結するもの。大きな問題となることが無いように日々、細かい配慮をしていただきたい。
- ・ 近年天候が不順ですので、治水の予算を考えてほしい。大雨や地震でも水は大切、水道水でなくても清掃で使える水の確保で衛生が保てるし、飲料だけでなく清掃や下水のための水の確保を望む。
- ・ 水道事業は福岡県と自治体の連携が重要と考える。
- ・ 今回、西日本豪雨と同時期に、福岡では山笠が行われた。  
被災地は長期に渡って断水が続いた事に対し、福岡の山笠では清い水として、大量の水が使われた事に、とても不快感を持った。  
山笠で大量に使われた水を、被災地に飲料水として、提供してほしかった。

- 水道に関する工事（特に道路での工事）の後処理の対応が悪い。例えば、レンガ貼りの歩道にアスファルトを埋めたまま。きとんと元通りにすべき（美観を保つ）。

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。